

(様式1)

記入例

令和8年〇月〇日

岡山県知事
伊原木隆太 殿

所在地 〒123-4567
岡山県岡山市北区〇〇101-1
団体等名 特定非営利活動法人〇〇〇〇〇〇
代表者職名 代表理事
氏名 △△ △△△

令和8年度「社会教育関係団体による地域パワーアップ事業」応募申請書

「社会教育関係団体による地域パワーアップ事業」について、次のとおり関係書類を添えて申請します。

<input checked="" type="checkbox"/> 社会教育関係団体の概要書	様式第2号
<input checked="" type="checkbox"/> 社会教育関係団体の定款・規約等	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画書	様式第3号
<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施計算書	様式第4号
<input checked="" type="checkbox"/> 収支予算書	様式第5号

※添付されている資料の口にチェック印を付けてください。

※提出書類は、上記の順に並べて添付してください。

※チェックください

○ 本事業の説明動画を視聴し、事業の目的やねらい等を理解しました。 →

委託事業実施に係る経費総額

280,000 円

うち県委託額

200,000 円

《委託料の概算払い 要・否》 ※いずれかに○を付けてください。

○事務担当者連絡先

担当者氏名 □□ □□

所 属 特定非営利活動法人〇〇〇〇〇〇

住 所 〒123-4567 岡山県岡山市北区〇〇101-1

電 話 012-345-6789

F A X 012-345-0000

E - m a i l NPOhoujin@××××.××.××

(様式2)

社会教育関係団体の概要書

団体等名 (特定非営利活動法人〇〇〇〇〇〇)

※貴団体について、記入してください。

1. 活動目的

次に記入してください。活動目的についてわかるものがあれば、別紙を添付していただいても結構です。

特定非営利活動法人〇〇〇〇〇〇は、19〇〇年の設立以来、子どもの放課後や休日等における体験活動の充実を目指して活動している団体である。
本団体の目的である「・・・・・・」を達成するために、この事業においては、△△の活動を行う。・・・・・・

2. 主な活動歴

次に記入してください。活動報告書を添付していただいても結構です。

年月日	活 動 内 容	実施場所
19〇〇年〇月	団体設立	
20〇〇年△月	子どもたちのための〇〇活動 (〇〇人参加)	岡山市××
20〇〇年〇月	〇〇について考える子どもフォーラム	△△会館 (××市)

3. 岡山県や地域の教育課題の改善について

本県や地域の教育課題の改善について、貴団体がどう考えられているか、どのようなことができるかなど、次に記入してください。

当団体が活動拠点としている地域では、子どもたちの直接体験の機会が減少しており、また、地域のつながりの希薄化により、子どもたちが地域の多様な人々と関わる機会が減少していることが課題であると考えます。

子どもたちに豊かな体験の場を提供するために、野外活動について豊富な知識や指導力を持っている団体の強みを生かし、野外活動を実施する。地域人材の活用を図り、新しい活動を考え、子どもたちの健全な育成を目指し、魅力的な活動を立案することとした。・・・・・・・・

4. 夢育パートナーズへの登録状況

本事業では、夢育パートナーズへの登録（または令和8年度中の登録）が要件となっております。

既に登録している。

今年度登録予定 → (5) 月頃を予定

4. 活動プログラム名

「 地域みんなが先生！～ふるさとで野外活動を楽しもう～ 」

5. 目 標 (ねらい)

※プログラムを通して、参加者に身に付けさせたい力、はぐくみたい姿等
 課題を解決する活動を通して、仲間と協力するために行動したり、他者の気持ちを
 考えて自分の意見を伝えたりする力を育てる。

6. 活動計画

複数回活動する場合は「第1回」「第2回」・・・と記載し、宿泊活動の場合は、
 その一連を一つの活動として「第〇回」としてご下さい。対象者に直接関わる活
 動や研修会について記載してください。(※実行委員会等の記載は不要です)

回	活動内容・対象・参加者人数・スタッフ人数・会場等	(評価方法)
第1回	★プログラムの効果的な実施に向けて、関係者で活動の目標や参加者への関わり方について共通理解を図る。 ・活動内容：講師〇〇〇〇氏による講話・ワークショップ ・対象：団体の構成員、地域の関係者、活動に関わる指導者 ・参加人数：〇名 ・会場：〇〇公民館	◆野外活動における指導の留意点や目標を共有し、子どもたちへの関わり方について理解している。 (事後アンケート)
第2回	★課題を解決する活動を通して、仲間と協力するために行動したり、他者の気持ちを考えて自分の意見を伝えたりする力を育てる。 ・活動内容：地域をフィールドとしたウォークラリー ・対象：小学校3年生～6年生の児童 ・参加人数：30名 ・会場：〇〇市△△体験センター	◆課題を解決する活動を通して、仲間と協力するために行動したり、他者の気持ちを考えて自分の意見を伝えたりしている。 (行動観察・記録カード・事後アンケート)
第3回	★・・・・・・・・ ・・・・・・・・	◆・・・・・・・・ (・・・・・・・・)

7. 事業実施スケジュール ※事業実施終了日 (1月22日)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	(2月)
実行委員会		○		○			○		
準備		←————→							
事業実施				○	○				

8. 連携する団体・NPO法人等

※活動プログラム開発や実施にあたり、連携する団体等があれば記入
 ○〇地区コミュニティ協議会
 NPO 法人〇〇〇〇
 △△高校・〇〇大学 (ボランティアの参加)

9. 参加者募集の方法

チラシ

ホームページ

Facebook